

バージョン 2.0

CS3・CS3+ (60226・60216) 用ソフトウェアアップデート 2.0 新機能の特色と可能性

バージョン2.0への更新により、CS3およびCS3+のユーザーインターフェイスにいくつかの機能が追加されました。機関車やアクセサリを設定するとき、およびレイアウトを操作するとき、これらの追加機能は顕著な利便性をもたらします。

追加機能について、以下の項目を紹介します。

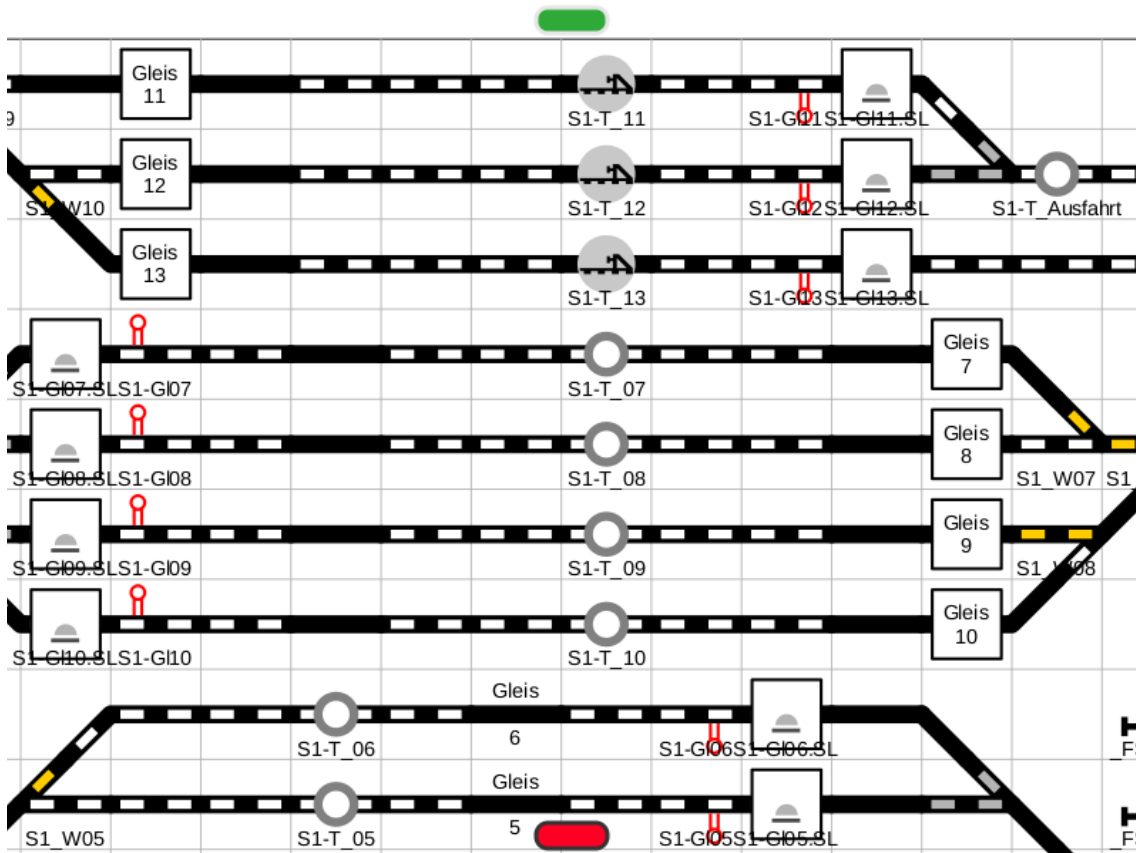
1. レイアウト図に代わる新しいアクセサリコントローラー
2. 改善された機器リストの設定と管理
3. 単純化された機関車機能の設定
4. 機能強化の詳細

1. 新しいアクセサリコントローラー

レイアウト図は、ポイント、信号機、およびその他のアクセサリを容易かつ快適に切り換えるために、CS3にインストールされました。このユーザーインターフェイスは、レイアウトボード上の実配線を模して、レールとアクセサリをグラフィカルに表現しています。

一方、実鉄道システムでは連動制御盤が使用され、ほぼ標準化された部品を使用して線路を表します。そこでは、線形の正確な再現よりも、正しい順序でポイントや信号施設が配置されているかが重要です。

CS上で、レイアウト図の代わりとして、その使いやすいユーザーインターフェイス(連動制御盤)も選択できるようになりました。ここで、従来のレイアウト図を使用するか、連動制御盤を使用するかを自分で決めることができます。両方のシステムを並行して使用することもできます。複数のコンポーネントがある場合、各コンポーネントを好きなユーザーインターフェイス形式で表示できます。たとえば、CS3画面には連動制御盤を表示させ、同じレイアウトセクションを、PCモニターに従来のレイアウト図形式で表示させることもできます。ユーザーは、好きな表現方法を選択できます。

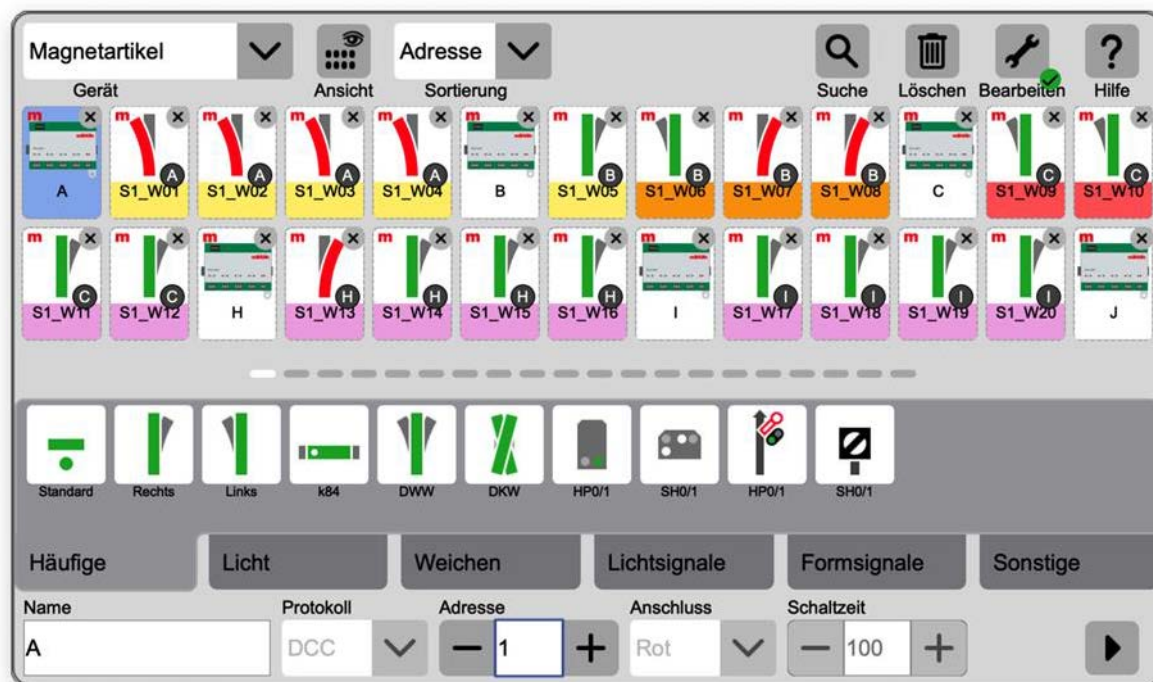


連動制御盤を作成するには、最初にポイント、信号機、およびその他のアクセサリーを設定しておく必要があります。これらの部品は連動制御盤に配置され、適切な接続部品でつながれます。これを行う場合、アクセサリーをレイアウト図からコピーして、連動制御盤に取り込むこともできます。アクセサリーの配置は、使いやすいユーザーインターフェイスにより、見やすい表示に調整できます。

レイアウト図と同様に、これらの連動制御盤にテキストを置くこともできます。したがって、特定の機能領域をわかりやすく表示することができます。ユーザーの技術レベル差は、連動制御盤で解決されます。

2. 機器リストの設定と管理

機器リストは、ポイント、信号機、開放レールなどのすべてのソレノイドアクセサリーの重要な基盤ですが、サーキットレール、コンタクトレールやその他すべてのアクセサリーの定義にも使用されます。その場合、これらの機器を設定するには、いくつかのサブメニューを事前に開く必要がありました。このプロセスが改善され、機器リスト全体を見ながら、同時に各アクセサリーのパラメーターを設定できるようになりました。



ここで新しい機能の例としては、空いているMMアドレスまたはDCCアドレスを表示できることです。上に示すアクセサリーのグループは、あるプロトコルで最近最も良く使用されたアドレスとそれに続く次の10個のアドレスを表しています。MM形式の最大アドレスは320、DCC形式の最大アドレスは2048で以前から変更はありません。新しいアクセサリーを追加するとき、空きアドレスを簡単に確認して、それを新しいアクセサリーに簡単に割り当てできます。

この機器リストでは、個々のアクセサリ-の設定内容も見るすることができます。いくつかの新しい技術的要素は、今日の鉄道模型市場において非常に先進的ソリューションです。

アイテムを選択すると、次のデータが表示されます：

- 名前
- プロトコル
- 接続
- アドレス
- 切り換え周期
- "▶" :プログラミング入力ダイアログ呼出し

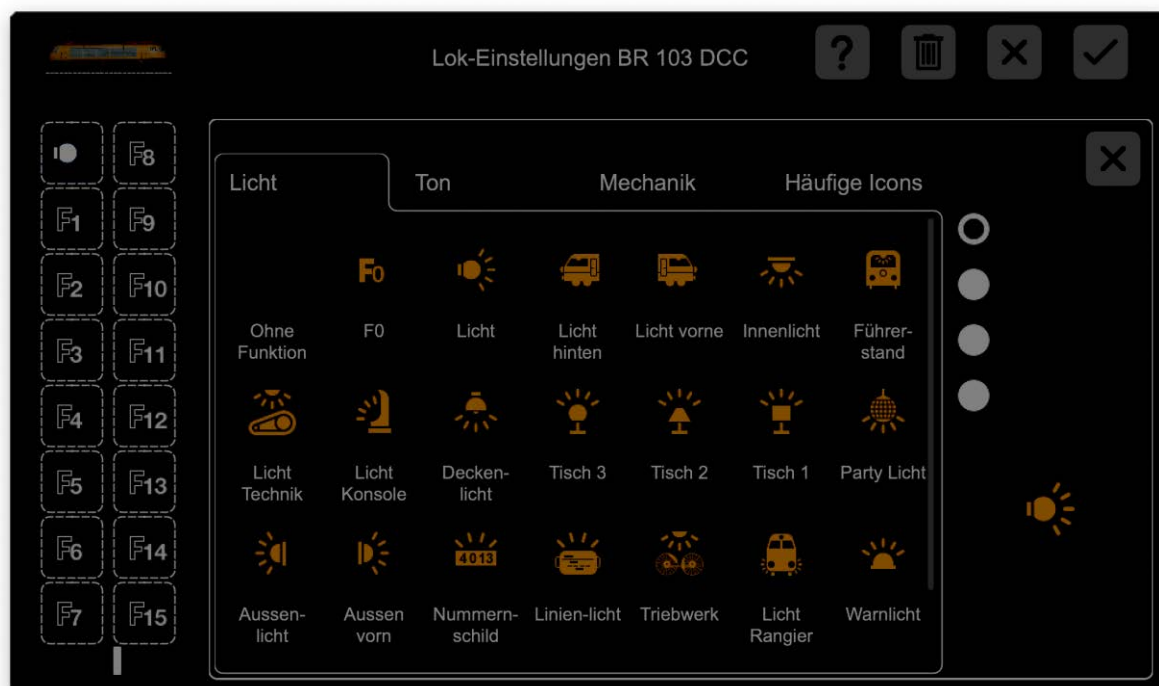
機器リストは引き続き表示されているため、他のアクセサリ-をすばやく変更できます。

s88コンタクトを選択すると、次のパラメーターが表示され変更できます。

- 名前
- バス
- モジュール
- コンタクト番号

3. 機関車ファンクションの設定

たとえば、機関車を手動で設定する場合、最近の機関車の多くのファンクションに適切なアクションを割り当てるには、ファンクション構成要素の一連の設定を行う必要があります。これらの設定を改善するために、このユーザーインターフェイスも改善されました。



ファンクションシンボルは、種類別に配置されたさまざまなサブメニューに表示されます。ここでは、そのファンクションが現在呼び出されていない場合でも、必要に応じて任意のファンクションボタンにドラッグできます。オンオフ型、瞬間型、タイマー型、またはイベント呼出し型のファンクションタイプもここで設定できます。これらの設定を別のCS2、CS3、またはMS2で使用する場合は、通常どおり機関車カードにデータを保存し、そのデータを他のコントローラーでの操作に使用できます。mfx機関車はこの情報をデコーダーに保存するので、機関車カードは必要ありません。

4. その他の改善

その他の改善により、多くのユーザーインターフェイスを快適かつ管理しやすく使用できるようになりました。例えば：

- レイアウト図と連動制御盤には、トンネルと橋梁部品があり、レールを他のレールの上または下に走らせることができます。
- PCとCS3を接続してPC上で設定する人は、この接続を通してレイアウト図と連動制御盤をCS3に保存できるようになりました。
- 子機としてCS2と連携する時の機能改善。

- 連動制御盤の配線図を作成する場合、最後の操作をキャンセル(Undo)したり、再度実行(Redo)することができます。
- 線路を描画するときに、線路を削除しても、同じ場所に再度描画できます。削除しても(その場所から移動しなければ)、必要なレールガイドが自動的に置かれます。
- イベントを配線図に置けます。これを行うには、ドラッグアンドドロップを使用して、イベントリストからイベントを配線図に追加します。レールへの吸着は行われません。
- システムで検出されたすべてのCS3+等は、「システム」の下に表示されます。このパネルに呼び出されるCSは、常に左端に表示されます。CSが子機と認識される場合、親機の右側に続き、他のすべてのCSも、その右側に配置されます。
- このアップデートには、MS2(60653または60657)の前バージョン3.55から新バージョン3.112へのアップデートも含まれています。

これらの新しい機能については、メルクリンマガジンの記事および将来のその他の出版物で詳しく説明します。メルクリンマガジンの記事は、公開後、次のWebページからダウンロードすることもできます。

<https://www.maerklin.de/de/erlebnis/maerklin-magazin/downloads/themen-specials-und-serien/>

時々ここを見るのは価値があります。

CS3の新しい可能性を探る楽しみがたくさんあることを願っています。

Märklinメルクリンサービスチーム